

備前市施策評価シート

施策名 (小項目)	広域行政	コード	作成者	役職	企画課長
		06-01-03		氏名	森 脇 博
			電話	64-1871	
			このシート作成に要した時間		1.0 時間

この施策のアピールポイント
2市1町の圏域においては人口減少と高齢化が進んでおり、単独の市町においては都市部と同等の生活機能を整備することは困難であるが、関係市町で役割分担をしながら、それぞれの特徴を活かし「定住」と「自立」に繋がる事業を展開することができる。

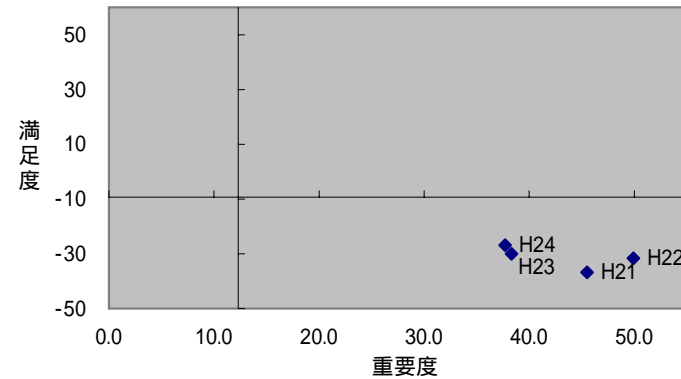
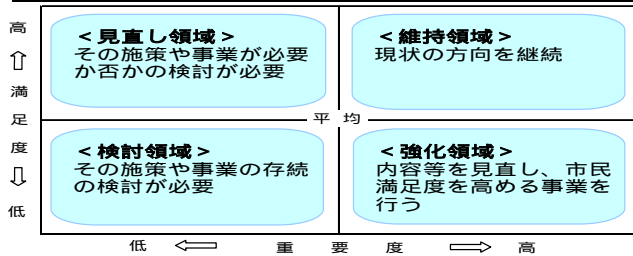
この施策の平成23年度の施政方針
定住自立圏構想を推進するうえで、圏域の将来像や圏域市町が連携して実施する事業を記載した「東備西播定住自立圏共生ビジョン」に基づき、平成22年度から各種具体的な取り組みを実施しております。23年度についても、圏域市町である赤穂市、上郡町とともに連携し、魅力と活力ある地域づくりを目指し、市民の目に見える形で事業を展開していきたいと考えております。

< 備前市総合計画の内容から記載する >

政策の体系	基本目標(大項目)	健全で自立したまちづくり
	基本施策(中項目)	簡素で効率的な行財政運営
対象と目的 (誰のために、何のために)	圏域住民の人口流出を防ぐため2市1町の自治体が連携し、定住自立圏を構成することにより、共生ビジョンの取り組みを推進する。	
現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	本市においての人口流出を防ぐため東備西播定住自立圏共生ビジョンを活用し、住民が安全で安心して住み続けることができるよう医療をはじめ各種定住化対策を推進する。	
施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 施策ごとに有効な圏域連携と共同事務処理の推進 圏域内行政機能の充実・強化 圏域連携のための圏域バスの運行 	

市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H21	H22	H23	H24
重要度(%)	45.5	49.9	38.3	37.7
満足度(%)	- 36.8	- 31.7	- 30.0	- 26.8



調査結果に対するコメント、市民の反応等
 調査対象でない施策は、市民の反応等
 市民アンケートでは、市内に公立病院が3病院あり、優秀な医師の確保、充実した診療科目が望まれ、若い女性からは産婦人科の要望が根強い。最近では赤穂市との医療連携に対し、室料差額や分娩費用の相違が指摘されている。(赤穂市民病院では市外住民は室料差額や分娩費用が高額となっている)

施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
		H21	H22	H23			H24	H28
成果指標 圏域バスの利用者数	目標	人				吉永病院～イオン赤穂(圏域バスの開始は平成24年3月5日のため平成24年度から目標値を設定)	H24	4,000
	実績	人			309		H28	8,000
	達成率	%					-	-
	ベンチマーク						-	-
参考指標 定住自立圏関係事業参加率	目標	%	5.0	50.0	50.0	定住自立圏関係事業参加者数/圏域住民基本台帳人口	H24	50.0
	実績	%	2.3	45.8	49.2		H28	60.0
	達成率	%	46.0	91.6	98.4		-	-
	ベンチマーク						-	-
参考指標 合併の結果、生活環境が良くなったと感じている市民の割合	目標	%	5.0	7.0	7.0	市民アンケート	H24	7.0
	実績	%	3.3	4.3	5.2		H28	7.0
	達成率	%	66.0	61.4	74.3		-	-
	ベンチマーク						-	-
参考指標 合併の結果、生活環境が悪くなったと感じている市民の割合	目標	%	30.0	30.0	30.0	市民アンケート	H24	30.0
	実績	%	37.7	36.6	38.9		H28	30.0
	達成率	%	125.7	122.0	129.7		-	-
	ベンチマーク						-	-

目標達成に必要な新規事業(裏面 施策構成事務事業以外の事業)及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
東備西播定住自立圏形成推進協議会	医療部会をはじめ6部会の広域的利活用	協議会を構成する2市1町の特色を活かし、連携・協力しながら住みよい圏域を形成する

施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い				
		判断理由(なぜ、そのランクと評価したのか)				
1 <成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか?	3	岡山県備前市と兵庫県赤穂市、上郡町の3市町で構成する東備西播定住自立圏の圏域住民の移動手段の確保、利便性の向上及び地域の活性化を図るため、吉永病院と赤穂市のショッピングセンターを結ぶコミュニティバスの運行は妥当である。				
2 <事業構成の妥当性> 手段は最適か?	3	圏域バスが運行するまでは福石線が県境の寺山入り口で折り返していたが、別路線を赤穂まで運行することにより地域の活性化が図られ適正な手段である。				
3 <施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	2	圏域バス事業は平成23年度末に開始されたため、実績は確認できていないが、今後、事業者の営業努力もいただき、本格運行を視野に入れ、実証運行を重ねる。				
進行年度(H24年度)の取組内容(課題解決状況)		圏域バス事業は平成23年度末に開始されたため、実績は確認できていないが、今後、事業者の営業努力もいただき、本格運行を視野に入れ、実証運行を重ねる。				
翌年度(H25年度)の取組目標		運行実績を見極めながら今後の運行を協議する中で、本格運行の是非を検討する。				
二次評価者コメント		合併後すでに7年が経過していますので、参考指標及びの項目は見直しが必要です。2か年の事業実績を踏まえ、本市にどのような効果があったのか検証してください。				基本施策への貢献度
役職 総務部長 氏名 三村 功						3 中立

施策構成事務事業の評価

施策を構成する 事務事業	細 事 業	事業 分類	事 業 費 等 (単位：千円,人)										施策への 貢献度
			平成21年度			平成22年度			平成23年度			平成24年度	
			直 接 事業費	人件費	人工数	直 接 事業費	人件費	人工数	直 接 事業費	人件費	人工数	当初予算	
1 広域振興協議会等運営事業	兵庫・岡山両県境隣接市町村地域振興協議会負担金	内部管理	20	187	0.02	10	0	0.00	10	22	0.00	10	
	岡山県南広域市町村圏振興協議会負担金	内部管理	0	281	0.03								* H21終了
	兵庫・岡山両県境隣接市町村地域振興協議会事業	内部管理				0	262	0.03	0	114	0.01	0	
	空路利用促進会負担金	内部管理	5	0	0.00	5	0	0.00	5	16	0.00	5	
	苫田ダム水源地域振興事業負担金	内部管理	747	187	0.02	721	106	0.01	646	0	0.00	599	
2 定住自立圏推進事業	定住自立圏形成推進協議会負担金	内部管理	8,000	0	0.00	25,500	0	0.00	30,600	0	0.00	35,500	
	定住自立圏推進事業	単市	276	8,048	0.86	114	9,833	0.88	128	6,910	0.72	336	
この施策に費やした資源(単位：千円,人)			平成21年度			平成22年度			平成23年度			平成24年度	
			9,048	8,703	0.93	26,350	10,201	0.92	31,389	7,062	0.73	36,450	